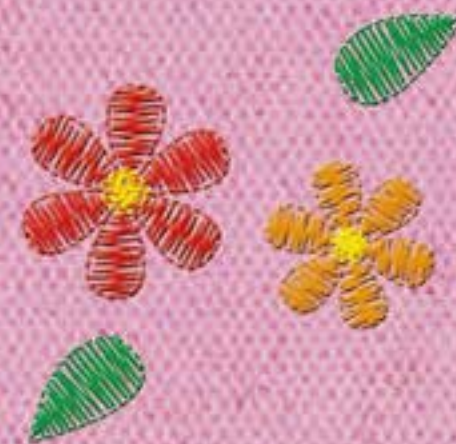


# 建設どさん娘の会 2019年度活動報告書



## INDEX

- 「建設どさん娘の会」設置要領 ..... P01
- 「建設どさん娘の会」2019年度活動報告 ..... P02~P13
  - ① 新入社員合同研修会見学  
2019年4月8日(月)、9日(火)
  - ② 室蘭工大女子学生との座談会  
2019年5月21日(水)
  - ③ 日建連けんせつ小町現場見学会・交流会  
2019年7月17日(水)
  - ④ 札幌建青会主催 親子現場見学  
2019年8月3日(土)
  - ⑤ 札幌工業高校保護者現場見学会  
2019年9月25日(水)
- アンケート調査集計結果 ..... P14~P17
- 「建設どさん娘の会」名簿 ..... P18~P19
- 掲載記事紹介 ..... P20~P25

### ご挨拶

北海道地域で活動する建設関連の女性従業員によって構成されている「建設どさん娘の会」も今年で5年目を迎えました。

建設業界で働く女性の総数はまだまだ少なく、彼女たちが抱える悩みなどはなかなか表に出てこないものがあります。課題解決のためには現状の把握が必要であると考え、当会では設立当初から建設業界の女性を取り巻く環境を把握するためアンケート調査を継続的に実施しております。2019年度は、建築・土木を学ぶ女子学生と企業との交流の場を設け、その際に行ったアンケートにより両者の立場の相違に基づく認識のギャップなどが明らかになりました。また、所属先の就業状況に関するアンケートにおいても、業界における様々な取組みと見えてきた課題が記述されております。

このように抽出された意見や課題を業界で共有し改革に向けて協働することで、女性だけでなく男性や業界の状況改善につながるのではないかと考えております。

本報告書をお手にとりいただきましたみなさまにおかれましては、本会についてぜひご了解いただき、活動にご支援・ご協働を賜ればと願っております。

2020年9月 「建設どさん娘の会」代表 福山 智子

## 「建設どさん娘の会」 設置要領

### 1 名称

当会の名称は「建設どさん娘の会」(以下どさん娘の会、呼び名は、「どさんこ」とする)とする。

### 2 目的

建設業に係るすべてのことをテーマに勉強会などを自らが主体となって行い、参加した女性技術者・技能者の知識や見聞を広げるとともに、業界団体や行政に対して、積極的に提言などを行うことで、建設産業における女性技術者・技能者の活躍に資することを目的とする。

### 3 所管事項

どさん娘の会は次の事項を所管する

- (1) 企業の経営者や行政の幹部らを招いた勉強会の開催
- (2) 女性技術者・技能者の活躍推進活動の行政・業界団体との連携
- (3) 行政・業界団体に対する女性の視点からの提言
- (4) 年度毎に活動報告書の作成
- (5) その他、道内の建設産業や建設関連行政に従事する女性技術者・技能者の活躍に資する事項

### 4 構成員

- (1) 正会員は道内の建設産業や建設関連行政に従事する女性役職員で構成する。
- (2) どさん娘の会の目的に賛同するものであれば原則自由加入とする。入会は事務局に申し込むものとする。なお、男性はサポート会員とする。
- (3) 代表は参加者で互選する。

### 5 会議

- (1) どさん娘の会の会議は代表が招集する。
- (2) 会議には必要に応じてオブザーバーを出席させることができる。
- (3) 交通費・宿泊費等会議参加に必要な旅費は参加者の所属企業等が負担する。

### 6 事務局

事務局は(一社)北海道建設業協会が行う。

### 7 その他

この要領のほか、必要な事項は代表と事務局で協議し定める。

#### 附則

この要領は、平成28年10月1日から施行する。

第1回変更 平成29年3月6日



「建設どさん娘の会」シンボルマーク  
北海道と女性の顔をかけ合わせたデザインです。  
ヘルメットを被り現場で働く女性をイメージしています。

# 2019年度活動報告

## ①新入社員合同研修会見学

開催日：2019年4月8日(月)、9日(火)

場所：北海道建設会館

会員同士の若手社員の教育や接し方についての戸惑いや悩みの声から、若手社員がどのように感じ・受け取るのかを知ることが出来る場は無いか…と言うことで、札幌建設業協会さんのご厚意により、「新入社員合同研修会」を見学させて頂きました。2日間のプログラムのいくつかを研修会場内で実際に見学させて頂きました。

カリキュラムも「会社とは～」から始まる、社会人としての心構えやマナー、報告・連絡・相談(ほうれんそう)の重要性、自己啓発など盛りだくさんの内容で、ところどころに設けられたワークシートを使ったペアによるシミュレーションでは、照れながらも一生懸命に名刺交換や電話対応、挨拶の練習や報連相についてのディスカッションに取り組む様子を見学することが出来ました。



## 会員の感想

●初心にかえることができた。すっかり忘れていましたが、報・連・相を実行していきたいと思った。

●お互いにとって心地よく、有益なコミュニケーションを取るためには、新入社員を受け入れる側である私達こそ、自身の知識・情報を常に更新することを心がけ、それを実行することが大切なのだと改めて感じた。

●自身の新入社員時はこのような手厚い教育は無かったので、羨ましく感じた。また、作法やマナーと言った一般常識的な感覚に大きなずれがあることも認識した。

●新入社員に「教える」だけでなく、彼らから「教わろう」とする姿勢も大切なのだと改めて感じた。

●日々会社であったようなことも、簡単にSNS等にあけてしまう社員もいるようなので、情報リテラシーに関する教育について改めて考えさせられた。

●新入社員合同研修は、人事労務管理を講義している私にとっては大変興味深い内容だった。専門の研修教育会社は、多角的に充実した内容を提供しているなあと感じた。



## ② 室蘭工大女子学生との座談会

開催日：2019年5月21日(水)

場所：室蘭工業大学 教育・研究1号館A317号室

特に土木系は大きく発注者、施工者、調査・設計者の3者がお互いに協力し合いながら、業務を行っていること、それぞれの特徴などを学生さんにより深く理解してもらうことを目的に、「道路ができるまで」をテーマに官公庁、建設業者、建設コンサルタントの各担当者がプレゼンテーションを行いました。続いて、女性採用の取り組みや自身が建設業界で働いて感じたことなどを建設どさん娘の会会員から1名、日経測量設計協会から1名、北海道から1名それぞれ紹介しました。

その後、5つのグループに分かれて「女性が働きやすい職場とは」というテーマで意見交換を行いました。限られた時間の中、社会人と学生がざっくばらんに意見交換を交わしました。学生さんからは「女性技術者がいない会社には入りづらい」「ゼネコン・コンサルともに体力面よりも精神的な面でのサポートが重要」「自分の状況を自分で積極的に発信していくことが大事」などの意見・感想が出ました。企業側からは「今日聞いた意見を私たちの意識を変える一助にしたい」等の意見があげられました。

### アンケート結果集計 対象者：参加学生

Q1:座談会への参加して、どのように感じましたか。



満足した 15人  
大いに満足した 5人  
あまり満足しなかった 1人  
満足しなかった 9人

Q2:座談会の時間配分はどうでしたか。



とても長い 9人  
長い 4人  
適切 10人  
短い 6人  
とても短い 1人

Q3:「道路ができるまで」を使った

建設業界三者連携の話は参考になりましたか。



とても参考になった 10人  
参考になった 10人  
参考にならない 1人

Q4:官公庁、建設会社、建設コンサルからの

女性採用の取り組みの話は参考になりましたか。



とても参考になった 11人  
参考になった 10人  
参考にならない 9人

Q5:グループ討議で参考になったことはなんですか。(自由記載、一部加筆修正)

- 女性が会社に求めることは、産休・育休制度があることや福利厚生がしっかりしていることであることが多い。
- 女性技術者に対する企業側の考え方を知ることができた。
- 女性の技術職員はどの企業でも必要とされていると感じた。
- 自分の行きたい道を決めることが重要。
- 在宅ワークが広がっていることを初めて知ったこと。
- 技術者として働いている女性の方が依然少ない。
- いろんな制度自体は整っているが、制度を利用している人が少ないので、どんどん利用していくことで働きやすい環境になっていく。
- コンサルタント、ゼネコンは、現場よりもデスクワークが多いと知ったので、体力面よりも精神的な面でのサポートが大事と感じた。
- それぞれの企業の女性技術者に対する考え方を知ることができた。
- 学生のイメージと実際の環境は違うということがわかった。
- 働いている人の土木を志望した理由がわかった。
- 会社に信頼できる先輩社員がいることが大事だと思うし、いてほしい。
- 企業側からの女性技術者の需要。企業側も女性の扱いをわかっていないので、自分で発信することが大切だということ。
- 女性に対する会社の取り組みを知ることができた。

Q6:今後の座談会のテーマとして希望する内容はなんですか。(自由記載、一部加筆修正)

- 「女性が働きやすい職場とは」という話がとても参考になったので、来年度以降も同じような話をしてほしい。
- 女性技術者に求めること。
- 1日の女性の働き方。
- 働いている女性の実体験
- 働き方について
- 仕事の環境について
- 事務職と技術職の違い
- 女性職員の採用の取り組み
- 実際に働いている女性職員の話
- 土木の魅力
- インターンシップについて

Q7:座談会を通しての感想、意見、要望などを教えてください。(自由記載、一部加筆修正)

- 女性の方のお話が私の聞きたいところをたくさん含んでいて参考になった。インターンシップについて考える時期なので、よく考えて企業を調べたい。
- 声が聞き取りにくいところがあったので、もう少し近い距離で話したかった。
- 今回は貴重な時間をありがとうございました。次回はもっと企業の方と話す時間があればと思った。
- みんな、女性採用に関して悩みを抱えているようであったが、やりたい仕事・魅力ある仕事であれば働きやすさ関係なく入社すると思う。
- 座談会の時間が短くて、聞きたいことも特になく私に届かなかったりほとんど理解することができなかった。もう少し時間が欲しいと思った。
- もっと全員が話せる雰囲気を作った方が良かったと思った。
- いろいろな話を聞いて、土木エンジニアはどんな仕事かとわかってきた。
- はじめて知ることがたくさんあったので、また機会があれば参加したい。
- 学校がある時期に行われるので、時間日程等が組みづらいと思いますが、もう少しゆっくり話を聞きたいと思った。
- これからインターンシップ、就職としていく中で色々な不安があるが、このような機会があると情報が手に入りやすい。
- 男性社員からも女性社員に対する雰囲気などを聞いて良かった。
- 現場での女性の需要を知れてよかった。
- 色々な人たちの話を聞いて、実際の仕事を目で見たり、体験したいと思った。

## アンケート結果集計 対象者:参加企業

Q1:座談会への参加して、どのように感じましたか。



●満足した 11人  
●だいたい満足した 5人  
●あまり満足しなかった 0人  
●満足しなかった 0人

Q2:座談会の時間配分はどうか。



●とても悪い 0人  
●悪い 0人  
●普通 4人  
●良い 11人  
●とても良い 1人

Q3:座談会で参考になったこと、ならなかったことはなんですか(自由記載、一部加筆修正)

- 会社体制の整備が必要
- 相談しやすい職場(OB・OG)がいると安心
- 就職後イメージしてもらえるような取り組み(インターンシップや女性活躍の前例)をつくり、見せていく工夫の必要性を感じた。
- 学生さんの望む働き方、悩みが少しわかった。
- 受け入れる企業側はもっと女性への不安に寄り添う必要があり、また男性の首脳陣で決めるのではなく、そこに女性の意見が必要だと思う。
- 学生の考えていることを参考に努力していきたい。
- 女性ごとの多様な意見があることを再認識した。
- 思いのほか、学生がしっかりとした考え方を持っていて、とても感心した。
- 有休、産休に係わる制度は知っているが、実績の有無を気にしているのが印象的だった。
- 今の学生はビジョンを持っていることがわかった。
- 学生の企業に求めることをもう少し聞きたかった。
- 民間インターンシップ先について聞いてよかった。
- 学生のみなさんは、将来に向けて自分が何をしたいか、しっかりとした意見を持っていて素晴らしいと思った。
- 学生の意見を聞いてとても参考になった。
- 企業側としては、現状として女性技術者がいない中小企業にとってはなかなか難しい問題だと感じた。今後どのような取り組みが良いか考えていきたい。
- 個人の会社で各々どう思っているかを教えてもらったのが参考になった。
- ベテラン女性技術社員の話は参考になった。
- 学生さんの生の声を聞いて良かった。
- 女性技術者がいないところは行きにくいということがわかった。
- どのような会社に就職したいかなど女子学生の意見を聞いて良かった。



Q4:今後の座談会のテーマとして希望する内容はなんですか。(自由記載、一部加筆修正)

- 現地研修
- 女性技術者が入職しやすい会社とは
- 北海道内での就職について
- 就職する会社に求めるもの

Q5:座談会を通しての感想、意見、要望などを教えてください。(自由記載、一部加筆修正)

- 学生さんの意見をもっと聞けるようにしてもらいたい。
- 学生さんの生の声を聞いて、現職の女性職員の生の声を聞かせたいと思いました。
- もう少し時間が欲しかった。
- 今後も続けてほしい。
- 初めての参加になりましたが、いろいろな意見が聞けて参考になった。
- 学生さんの話を聞ける時間がもう少したくさんあれば良かった。



## 会員の感想

- 女性は世が求めるロールモデルでは活れない多様性に富んでいる事、働き方を変える時に選択肢が広がるように、復帰したい場所で活躍できるように、経験を積んで欲しい事などが伝わってほしいと思い発表した。
- 福利厚生、特に産休・育休制度が整っているかは気になるという意見があった。又、それらの休暇を取った後、復帰する自分の場所があるのか?技術の遅れがネックになるのではないかと不安を抱えていた。
- 時間が押してしまい、座談会の時間は当初予定よりも短くなってしまったことが残念だったが、女子学生の意見を聞ける時間を得る有意義な時間であった。
- 現職の女子学生に話を聞くことができ非常に有意義な時間だった。
- お話しした中で学生さんが不安に思っていること等を会社で共有し、改善していくことができたら女性技術者が今よりも増え、働きやすい社会になるのかなと思った。
- もっと学生さんから話を引き出せるような環境を作ることが出来なかったのは少し残念だった。
- 進学する際の大学選びから就職までのビジョンがしっかりしていて驚いた。
- 業界に対する学生さんからの率直な感想をお聞きすることのできるこのような機会は、建設業界で働く私達にとって、男女分け隔て無く快適に働ける職場環境に改善するためのヒントや気づきをもたらえる大変有意義な機会だと思った。

### ③日建連けんせつ小町現場見学会・交流会



開催日 2019年7月17日(水)

工事名 :北海道新幹線、朝里トンネル他

施工者 :東急・宮坂・廣野・玉川JV

一般社団法人 日本建設業連合会 北海道支部の協力により、けんせつ小町を対象にした現場見学会とランチミーティングが開催されました。参加者は同会より5名と日建連会員企業より30名の合計35名が集まり交流を深めました。

現場見学会は「北海道新幹線、朝里トンネル他工事」で行われました。

現場事務所到着後、初めに木下広報部長様の挨拶、JRJT橋本所長様より事業概要と進捗状況説明があり、続いて東急・宮坂・廣野・玉川共同企業体小林所長様より工事概要の説明がありました。

その後、掘削作業は行われていませんでしたが、インパートまでの施工状況を小林所長様の説明を受けながら見学させていただきました。ダンプトラックも稼働している中、現場の迫力やスケールの大きさを肌で感じながらの見学となりました。

現場の中は薄暗く、ひんやりしていて、足元が悪い

イメージでしたが、実際のトンネル内はとても広く、明るく、車両用通路は綺麗に整備されていました。また、とても蒸し暑く、インパートまで歩く距離がとても長く感じられました。参加者からは“重機が大きい”“標示物が見やすく安全対策ができていた”“建築よりスケールが大きい”などの感想がでていました。

見学後は現場事務所に戻り質疑応答では“斜坑から本坑への施工の流れは?”“避難訓練はどのように行うのか?”等様々な質問がでていました。

質疑応答の後会場を移動し、ランチミーティングを行いました。

5つのグループに分かれてテーブルトーク…始めは緊張した感じでしたが、自己紹介を終えると、お料理と共に場も終始盛り上がりました。

各テーブルでは現場見学会の感想、女性が働きやすい環境、建設業の好きなどころなどを話し合い和やかな雰囲気の中無事終了することができました。



### 会員の感想

●JRJT 関連の朝里トンネル工事を見学し、幾つかの河川を横断するトンネルであり、トンネル上部〜河川までの距離が近接している箇所があるということでしたので、湧水や泥などで多きにくい坑内なのでは?という予測に反し、車用通路も含め綺麗に整えられている現場だった。

●北海道新幹線のトンネルの多さに驚きました。入り口には気温 19.8 度・湿度 88%との内部測定値の掲示があり、涼しいのかな?と思いトンネル内に入ったが、歩く距離が長かったのと湿度のせいで蒸し暑く感じた。もし、自分がこの現場で働くとしたら、...と考えると少々過酷な環境だなと感じた。内部は整理整頓されており、わかりやすい掲示物が多く安全管理の面では勉強になった。

●作業着、快適トイレ、同性の配属・配属に関する問題、残業時間について等、様々な意見や各々が抱える現状と疑問点が次々に繰り出され話は尽きず、他社の現状に驚いたり共感したりと賑やか且つ和やかな時間となりました。

●“女性の働きやすい環境”というテーマでは、数年前では産休育休は取れるのか?女性用トイレや更衣室は?ということをお配する意見が多くあったが、現在は各社制度も整い、今後は現場監督や現場支援としてもっと活躍したいという前向きな発言が多かった



★★★ 交流会（ランチミーティング）であがった意見 ★★★

現場見学会の感想

- もっと説明を詳しく聞いてみたいと思った。また勉強してもらいたい。
- トンネルの規模の大きさに圧倒された。
- 新幹線のトンネルの速いを実感した。
- 現場見学会は初めてだったので楽しかった。
- 建築現場との違いがもしろかった。
- 女性の働く環境はあまり整っていない。
- トイレなど女性が使いやすい設備が少ない。
- 機械や重機の大きさに驚いた。
- 指示物(大きさや形状など)が見やすかった。
- トンネル内の環境(温度・湿度など)での作業が大変だと思った。
- 照度が高く、車両も整列してキレイだった。
- 重機の大きさが建築と違うと感じた。
- 建築よりもスケールが大きいと感じた。
- 掲示板類の安全対策ができていた。
- 土木の現場は初めてだったが、きれいな現場だった。
- 危険な中、声掛けをしながら、見学をさせてもらえた。
- 今まで土木の現場にはあまり行ったことがなかったが、たのしかった。
- 学生の時にトンネルの現場を見れていたら、土木に就かっていたかと思った。
- 大勢いるガンアの運転手、打合せはどうしているのかなと思った。

女性が働く上での問題点や改善すべき点は？

- 女性用トイレが現場になく、近くのスーパーに行ったこともあった。
- 女性の絶対数が少ない。
- 女性が少なく、孤立してしまうので、普通に喋ってほしい。
- フレックス制度・在宅勤務は制度としてあるが、使いにくい。
- 女性は甘いもの・ピンクが好きだという固定概念も持っていることが多い。
- イメージアップのため、もっとかっこいい作業服が増えるといい。
- 事務も含めて、出産を機に退職することが多く残念。
- 現場のトイレ環境の整備が追い付いていない。
- 男女のトイレの格差をなくしたい。男性にもきれいなトイレを使用してほしい。
- 快適トイレ女性専用など、実際に女性が求めているものと違うのではと感じる。
- 上司になる人の意識改革が必要。男性の教育も必要。
- 女性だからといって、気を遣ったり区別しないしてほしい。
- お茶、洗い物、受付は「女性の仕事」という意識がまだある。
- 男性でも育児を取得している人がいるが、肩身の狭い思いをしている。
- 制度はあっても、年配の方の意識は変わっていないように感じる。

2019年7月17日(水) 13:00~15:00 グランドパーク小樽

建設業のここが好き!

- いろんな能力を持った人が協力してものをつくりあげていくところ。
- チーム感のあるところ。
- 竣工したものを使ってくれる人たちが幸せになってくれる。
- 最初から最後までモノづくりを見届けられることができる。
- 専門的な知識のある方々が協力し合って作り上げるというところにやりがいを感じる。
- 作業員と話ながら仕事ができること。
- 災害の時に役に立てたこと。
- 自分の思った通りに出来上がったとき。
- 下請業者と話し合っ、仕事が進んだときにできる信頼関係。
- 自分が決断できる場面が増え、仕事が認められたと実感したとき。
- 大きなものが残ること。
- 人とのつながり、感謝されたとき。
- 現場がひとつのチームになり、完成するまでの過程が楽しい。
- 出来上がったものを周りの方に見てもらえる。
- 自分が携わった現場ができていくのが楽しみ。
- 現場を支援することで、現場で働く人の時短などにつながっていくことが実感できたとき。
- 足場をばらしたときに職長さんに褒められ、達成感が得られたとき。
- 私たちの安全・当たり前の生活を陰ながら支えているところ。

継続的に女性が働いていくために必要なこと

- 現場に行って、生の声を聞いて社内にフィードバックする。
- 産休・育休取得後は同じ部署に戻る。
- まずは何でもやらせてもらえる環境(できるできないは個人差)
- 女性が少ない環境なので、社内外問わず、お互い協力していくこと。
- 建設業界で働く女性がもっと増えること。
- 上司が女性に求めるものをもっと明確化してほしい。
- 作業服、フルハーネス、長靴など圧倒的に女性に合うものが少ないので、充実させてほしい。
- 男性も含めて、介護に対しても環境整備をしていく。
- 現場ごとに環境がちがうので、細やかな対応をしていくことが必要。



## ④ 札幌建青会主催 親子現場見学会

開催日：2019年8月3日(土)

工事名：北海道新幹線 朝里トンネル他

施工：東急・宮坂・廣野・玉川JV

札幌建青会さん主催で毎年開催されている親子現場見学会に、建設どさん娘の会として参加しました。現場では、JVさんから北海道新幹線の概要説明がされ、トンネル切羽近くまで往復2km弱を歩いて見学しました。夏休みの自由研究にということで、JV作業員さんに一生懸命質問し、回答をメモする小学生の様子が印象的でした。

現場の安全管理がきちんとされていることに驚いている保護者もいました。

見学会後、参加者全員でお昼ご飯を食べ、子供同士で打ち解けている様子でした。

社会インフラ整備の重要性、建設業の担う役割がほんの少しでも参加した子供たちに伝われば良いなと感じました。



## ⑤ 札幌工業高校保護者現場見学会

開催日：2019年9月25日(水)

工事名：一般国道5号 余市町登川大橋A橋上部工事・一般国道5号塩谷トンネル工事

施工：登川大橋A橋上部工 日立造船株式会社

塩谷トンネル 大林組・福津組特定建設企業体

小樽管内の橋とトンネルの工事見学に札幌工業高校の保護者の方と一緒に参加しました。現場では、小樽開発建設部の女性技官さんや現場所長さんから現場説明があり、事業の目的や意義を理解することができました。

現場見学会後、保護者の皆様、開発局の札幌工業高校出身の技術者さんも交えて意見交換をしました。

短い時間ではありましたが、保護者の方たちから率直な質問をいただき、会員も刺激を受けることができました。

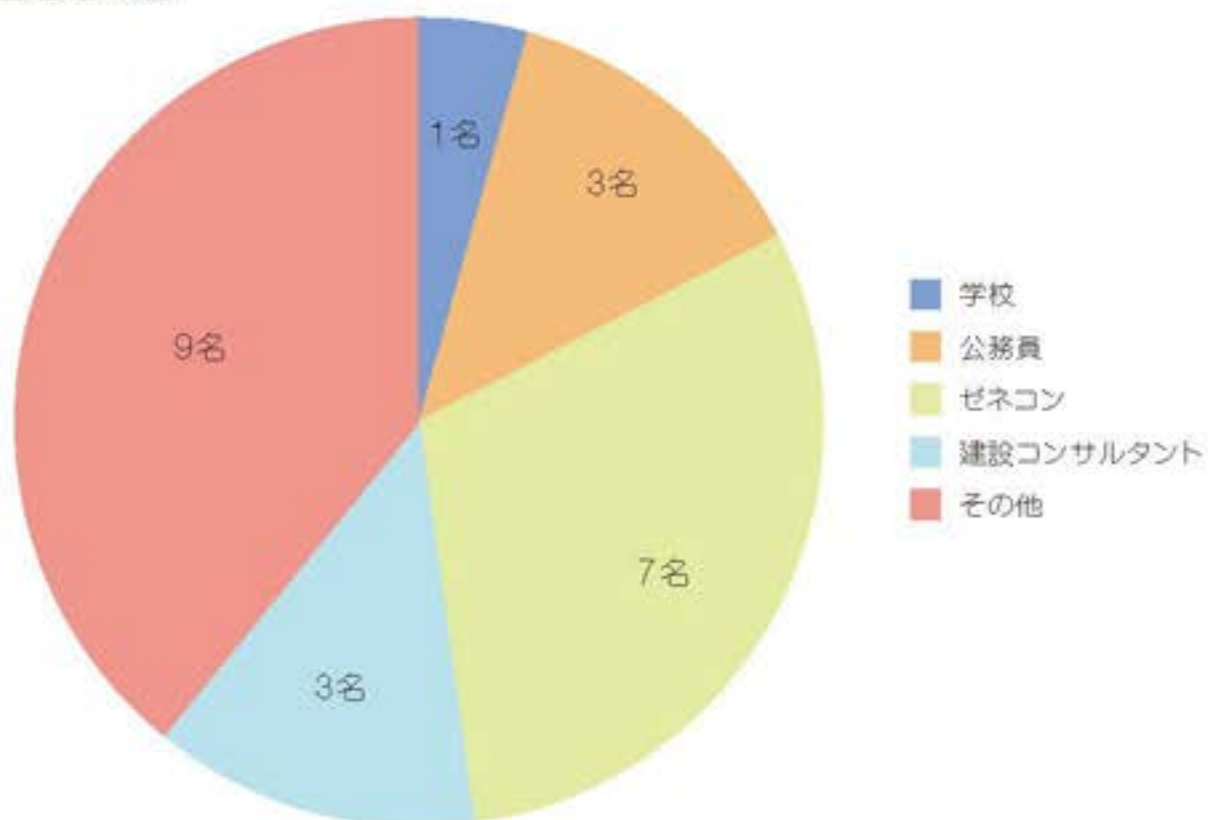




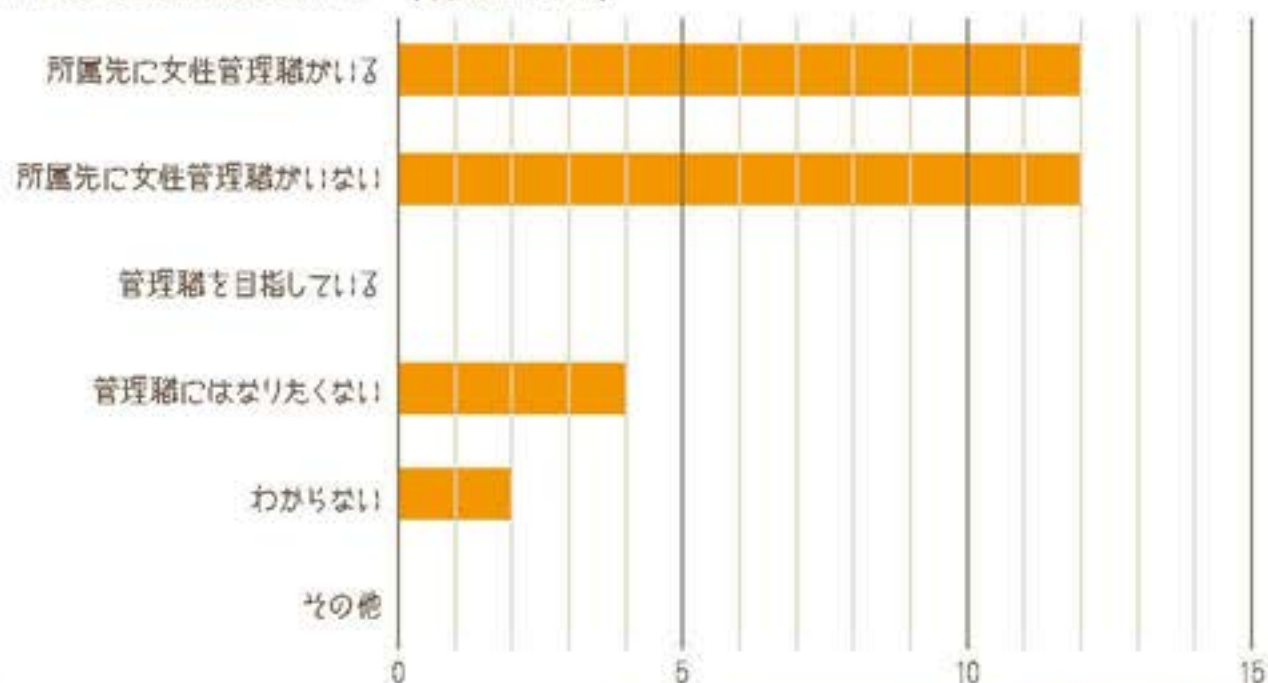
# アンケート調査集計結果2019

会員それぞれの思いや置かれている就業環境についてをアンケート形式で聞いてみました

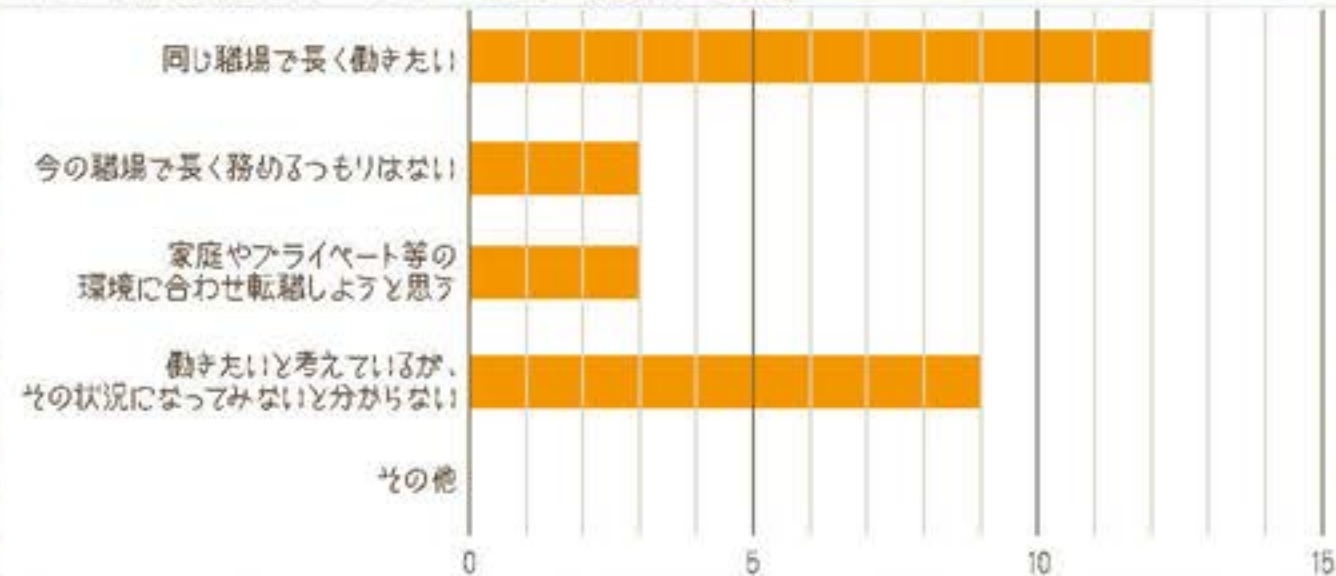
回答者所属



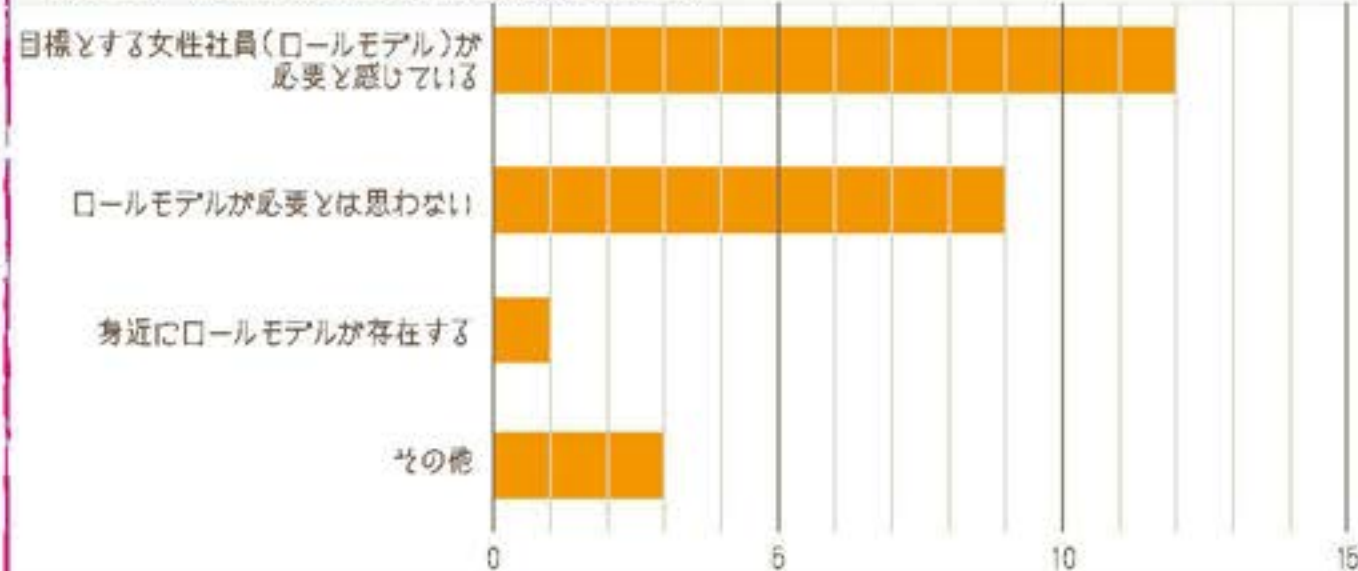
Q1. 女性管理職について (複数回答可)



Q2. 今後の就業イメージについて (複数回答可)

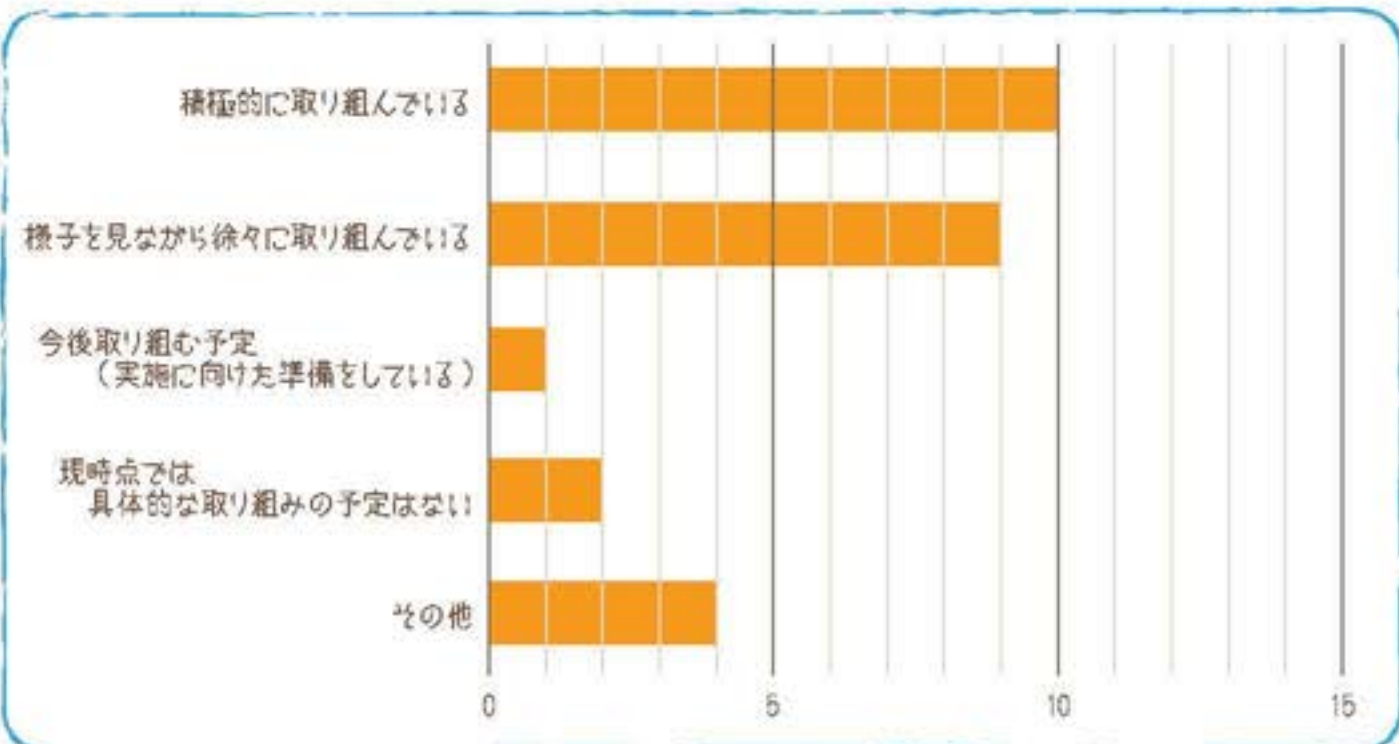


Q3. ロールモデルについて (複数回答可)



- ロールモデルが居ないが、伸び伸びと仕事ができている気がする。  
また、求めるにしても、自社内に求めるのではなく外に出て他社、他業種、他業界に求め、交流を持つ方がしらかりみ無く、程良い刺激を受けられると思う。
- その人個人や企業の方針等、それぞれだと思うので、ロールモデルを特定する意味がないのでは？
- 後輩の為に必要だと感じるが、年齢が離れている上に、参考数が極端に少ない為、片寄ったパターンしか示せず悲しい。

#### Q4. 所属先の働き方改革について(複数回答可)



●内勤者は休暇取得やノー残業デーなどを積極的に活用しているが、現場配属者は業務内容や時間にムラがあり様子を見ながら取り組んでいる状況。

●働き方改革を進めているが、今のやり方で改善されるとは到底思えない。個々の業務改善を求められているが、業務内容が減るわけではないため、就業時間内に業務をこなすには限界がある。業務そのものの見直しや、意識・会社の体質改善が必要。

●職場では取組が始まっているが、働きやすくなるとは思えない。

●隔週で土曜日が休み・祝日が休み・残業がうるまなくなった

●札幌市ワーク・ライフ・バランスplus認定を受けている。

→小学校3年生終了時に達するまでの子を養育する者に対し看護休暇の取得できる：法定以上

→本人と家族の妊娠期間中の休暇・勤務時間の短縮、男性の育児休業・休暇取得促進、育児休業中も職場復帰しやすい取組を実施、ノー残業デーの実施、連続休暇の取得を促進。

●労働時間短縮に向け、時間管理を行うと共に働き甲斐のある労働環境を整えるよう推進している。

●朝方勤務等の職員の生活スタイルに応じた勤務時間の設定が取り組まれている。

●大学の施策として、キャンパス内に保育所の設置がなされました。育児・介護休暇も取れるようです。また、科研費などの研究費は出産・育児の期間が考慮されています。札幌市ワーク・ライフ・バランスplus認定済。

●ワーク・ライフ・バランスに関する認定を受けている。ノー残業デーの取組みや現場の週休二日を進めている。今後は完全週休二日となる予定。

●現状に把握。年間を通した聞き取り調査(モデル現場の設定)。

●若年層に限定した懇親会・意見交換会を実施など、各年齢層毎の教育(言葉の伝え方、伝わり方の世代間での違いなど)を実施したい。

●テレワークの導入。

●有給休暇の取得の義務化・時間外労働時間の短縮化・第2第4土曜日休日(週休2日)。

●外注の積極的活用、管理職による業務量調整、労使双方の意識改革。

●水曜日はノー残業デー(ほとんど機能していない)、休みは取りやすい。

●職場では月・年間の超過勤務の制限が設けられた。以下、個人の感想ですが、仕事内容が減るわけでもなく、むしろ全体的に人が減っているため、時間内に終わらせることが困難。個人の努力で効率化せよと言われるが、限界があり、根本的な解決になっていない。

●有給休暇(5日/年)取得に向けた周知文の掲示(取得させるための具体的な取組みについては検討中)。

●一日の仕事を確認して、おおよその時間配分を決めて目標時間まで実行する(守れないことも)。

# 『建設どさん娘の会』名簿

2020年3月31日現在 業不同、敬称略

氏名	所属企業・団体名及び役職
飯田 百合亜	岩田地崎建設㈱ 技術部 技術課 主任
稲垣 沙也加	一三北路㈱ 土木工務部
橋本 綾佳	岩田地崎建設㈱ 環境ソリューション部 主任
林 真弓	萩原建設工業㈱ 土木部
松尾 優子	苫小牧工業高等専門学校 創造工学科(都市・環境系担当) 准教授
本庄 千明	㈱中山組 安全・ISO部 係長
松本 彩子	菱中建設㈱ 営業部 営業課 課長
古口 亜季	㈱岩崎 第二営業部 建設システム課 係長
福山 智子	立命館大学 理工学部 建築都市デザイン学科 准教授
野村 理恵	北海道大学 大学院工学研究院 建築都市空間デザイン部門 空間計画分野 建築計画学研究室 准教授
堤 悦子	北海道建設部建設審議会委員・専門委員会委員長 日本労務学会北海道部会長(理事)・大学教授
大久保 智穂	㈱ドーコン 地質部 副主幹
熊木 朋子	北海道開発局 札幌開発建設部 札幌河川事務所 計画課 計画係長
遠藤 のぞみ	北海道開発局 建設部 道路計画課 企画第2係
菊川 栄子	新太平洋建設㈱ 土木事業部 土木積算部 副部長
伊藤 和美	杉原建設㈱ 工務部 工事課 主任
鳥潟 ゆき	一三北路㈱ 土木工務部 工事課
平塚 友紀	一三北路㈱ 建築工務部
川口 優央	北海道建設部 建設政策局 建設管理課 主事
杉山 奏澄	(一財)建設物価調査会 北海道支部
石川 朋美	㈱北創 工務部
安曇 涼花	㈱イーティック 調査部 技師
飛田 史枝	勇建設㈱ 工務部 工事課
蒲澤 玲美	日本高圧コンクリート㈱ PC事業部 札幌支社 設計部
塩原 歩	㈱北海道建設新聞社 空知支社 記者
松本 光代	(一社)北海道建設業協会 労務部 労務課長補佐
今川 由香理	(一社)北海道建設業協会 労務部 福祉課 主任

計27名

## 【サポート会員】

氏名	所属企業・団体名及び役職
栗田 悟	(一社)北海道建設業協会 副会長
井之口 淳治	(一社)北海道建設業協会 労務部長
今城 昇	(一社)北海道建設業協会 労務部 労務課長
米地 篤	北海道建設部 建設政策局建設管理課 主幹
永井 清隆	北海道建設部 建設政策局建設管理課 主査
山田 健一郎	㈱山田組 代表取締役社長
砂田 英俊	北土建設㈱ 代表取締役社長
玉川 裕一	㈱玉川組 代表取締役社長
坂 昭弘	勇建設㈱ 代表取締役社長
岩田 幸治	岩田地崎建設㈱ 取締役 副社長執行役員 管理本部長
矢部 育夫	㈱きたリンク 代表取締役
寺田 治	パナソニック システムソリューションズ ジャパン㈱ 北海道社 常勤顧問
西村 敦史	北海道開発局 事業振興部 技術管理課 技術管理企画官
萩原 一宏	萩原建設工業㈱ 専務取締役(兼)執行役員営業本部長(兼)第二営業部長
平田 直義	新太平洋建設㈱ 営業部 部長
山本 英樹	㈱ファルコン 営業部 部長
坂下 淳一	一三北路㈱ 土木工務部 部長

計17名

# 掲載記事紹介

職場環境などで意見交換  
室蘭工大女子学生と建設業関係者  
室蘭建管などが座談会開催



女子学生の建設業界への進出を支援した。

【室蘭】室蘭建管は21日、室蘭工業大学で室蘭工大女子学生と建設業関係者との座談会を開催した。共催は建設とさん娘の会、協力は室蘭経営研究会と日胆地区測量設計協会。女性が働きやすい職場などについて意見を交わした。

座談会は、建設業を目指す女子学生と、女性技術者や経営者が意見を交換し、就職に当たっての不安や悩み、双方の求めるものについて理解を深めることを目的で開催した。

室蘭建管は、建設業の平均給与は高い一方で「実際に高給している女性技術者・経営者と対等に意見を交換し、将来に役立てたいなければ」と期待した。

北海道通信 2019年5月23日

会社・建設コンサルの連携について」と題し、平野主幹、室蘭経営研究会から室蘭建管の藤田室長、日胆地区測量設計協会から梅澤セイ・エリンシニアリングの大橋浩介、測量技術者が道庁ができるまでの流れを説明した。

また、室蘭建管の道庁公地測量課課長、建設とさん娘の会から梅澤セイ・エリンシニアリングの大橋浩介、測量技術者が道庁ができるまでの流れを説明した。

この会から新太平洋建設のことが重要」と呼びかけ、室蘭工業大学土木部部長、日胆地区測量設計協会から梅澤セイ・エリンシニアリングの大橋浩介、測量技術者が道庁ができるまでの流れを説明した。

また、室蘭建管の道庁公地測量課課長、建設とさん娘の会から梅澤セイ・エリンシニアリングの大橋浩介、測量技術者が道庁ができるまでの流れを説明した。

## 女性進出支援へ座談会 室蘭建管、どさん娘の会など



自分たちの将来イメージをつかもうと参加した室蘭工大の女子学生ら

【室蘭】室蘭建管、建設とさん娘の会などは21日、建設業界への女性進出を積極的に後押ししようとして、室蘭工大で同大女子学生と座談会を開いた。仕事のイメージを膨らませてもらうことも

に、学生らしい素直な意見に耳を傾けた。

室蘭経営研究会と日胆地区測量設計協会が協力。室蘭工大の2年生から大学院生まで、建築、土木を専攻する学生22人と、官庁や業界から合わせて45人が参加した。

最初に建設業をより深く知ってもらおうと、「道庁ができるまで」をテーマに、官公庁と建設業者、建設コンサルの各担当者からプレゼンテーション。計画から測量・調査、用地取得を経て、工事説明、施工、完成、維持管理に至る一連の流れを解説した。

続いて、女性採用の取り組みを説明。建設とさん娘の会に所属する菊川栄子さん(新太平洋建設)は、自らの就職活動、職場経験を披露し「施工管理、ものづくりは魅力的な仕事」と、後に続く女性技術者を歓迎した。

また日胆地区測量設計協会から参加した菅原桂子さん(菅原測量設計)は「今日出た意見を私たちの意識を変える一助にしたい」と述べた。

このあと、参加者は5つのグループに分かれて意見交換。「女性技術者がいない会社には入っていきづらい」「仕事のイメージが分からない」「現場やトイレなど汚い印象がある」といった声や、「結婚、子育てで休職できるのか、そのあと職場に復帰できるのか」「インターンシップに参加して現場や会社を知りたい」などの指摘、要望が出された。

今回参加したメンバーは、9月に道庁道庁之町伊達線の工事現場を訪れ、建設業の知識をより深める予定だ。

## 建設業界もつと女性を

### 室工大生と企業が座談会

さん20は「福利厚生など、多くの業種の現状を聞くことができた」。胆振、日高の若手経営者でつくる室蘭経営研究会の小金沢昇平副会長は「現場は汚い、と感じた」と振り返った。

北海道労働局によると、3月の道内の有効求人倍率は1.19倍。特に「建築・土木・測量技術者」5.35倍、「建設・土木作業員」2.95倍など建設業の倍率は高く、人手不足に悩む企業が多い。同振興局室蘭建設管理部は「女性の力を求める企業は増えており、正確、丁寧な働きぶりを評価する経営者も多い。今後マッチングを進めたい」と話した。

(横山清貴)

建設業界への女性進出を後押ししようと、室蘭工業大の女子学生22人と建設業関係者22人の座談会が21日、同大で開かれた。人手不足が深刻化する中、学生は受け入れ態勢やキャリア形成について質問し、企業側は「男職場」の印象を変えようと環境整備が進んでいることをPRした。

胆振総合振興局と、女性活躍の拡大を目指す「建設とさん娘の会」(事務局＝北海道建設業協会)が初めて共催した。

参加者は5班に分かれ「トイレなど現場の環境は」「産休、育休から復帰しやすいか」「企業選びで重視するポイント」と互いに質問し「雰囲気分かるようインターンシップを充実させて」「入社したら職場環境改善のためにとんとん意見を」と語り合った。

建設社会基盤系学科土木工学コース3年の西島麗蓮



室蘭工業大の女子学生と建設業関係者が語り合った座談会

北海道新聞 2019年5月22日朝刊

# 室蘭工大 女子学生との 座談会

建設とさん娘の会 2019年度活動報告書

北海道建設新聞 2019年5月23日

【小樽】日本建設業連合会北海道支部(平島信一支部長)は、17日、小樽市内の「北海道新幹線朝里トンネル他」(東急・宮坂・廣野・玉川JV)の現場を見学した後、懇話会を開催し、参加した36人は、同じ業界で働く女性とさまざまな話題を共有して交流を深めた。

けんせつ小町は、建設業で働くすべての女性の登壇。日建連は、建設業を女性が活躍する力を発掘できる環境としていくため、女性にどうも働きやすく、働き続けられる労働環境の整備を進めている。見学会も、女性活躍推進の重要な

### 様々な話題で交流深化

日本建設業連合会道支部  
けんせつ小町現場見学会開く

テーマに資する取組の一端として開催されている。見学会には、技術者や事務職の社員がさまざまな部署で活躍する合同企業の女性社員36人が参加した。朝里トンネルは、小樽市内で建設が進められている延長4.325キロの現場。工期は2023年9月9日まで。



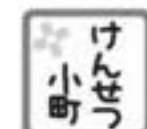
女性社員36人が参加した。現場は、掘削箇所近く。のれんが必要」との考え、掘削箇所は、掘削箇所近く

### 北海道新幹線朝里トンネル現場見学会

日本建設業連合会北海道支部(平島信一支部長)は17日、東急建設・宮坂建設工業・廣野組・玉川組JVが施工を担当している北海道新幹線朝里トンネル他工事現場で「けんせつ小町現場見学会」を開いた。当日はけんせつ小町、建設どさん娘の会の会員と合わせて約40人が参加した。写真。

冒頭、木下勲広報委員長は「女性就業者が永続的に活躍するため、企業の取り組みに任せるだけでなく、建設業全体でレベルアップする必要がある。本日を機会に女性同士

### ズリ出しなどスケール体感



けんせつ小町は、建設業で働くすべての女性の登壇。日建連は、建設業を女性が活躍する力を発掘できる環境としていくため、女性にどうも働きやすく、働き続けられる労働環境の整備を進めている。見学会も、女性活躍推進の重要な



施工＝東急・宮坂・廣野・玉川JV

現場詰所で鉄道建設・運輸施設整備支援機構北海道新幹線建設局の橋本浩市小樽鉄道建設所長から事業概要の説明を受けた後、一行は斜坑口からトンネルに入り、220メートルの斜坑を下った先の本坑内でズリ出し、1次インバートの作業などを見学し、あらためて現場のスケールを体感した。

見学会後、参加者は「斜坑から本坑施工の流れは」「避難訓練など安全面に対する取り組みは」などと質問し、JVの小林敬一所長がそれぞれ丁寧に説明した。

朝里トンネルは、小樽市内で建設が進められている延長4.325キロの現場。2017年2月に着工し、23年9月の完成を予定している。

建設通信新聞 2019年7月22日

## 日建連 けんせつ小町 現場見学会・交流会

建設通信新聞 2019年7月22日



### けんせつ小町交流会 ランチミーティング

5つのグループに分かれてテーブルトーク。主司のテーマで話し合い、大いに盛り上がりました！

【小樽】日本建設業連合会北海道支部(平島信一支部長)は、17日、小樽市内の「北海道新幹線朝里トンネル他」(東急・宮坂・廣野・玉川JV)の現場を見学した後、懇話会を開催し、参加した36人は、同じ業界で働く女性とさまざまな話題を共有して交流を深めた。



交流会では、5つのグループに分かれてテーブルトーク。主司のテーマで話し合い、大いに盛り上がりました！

【小樽】日本建設業連合会北海道支部(平島信一支部長)は、17日、小樽市内の「北海道新幹線朝里トンネル他」(東急・宮坂・廣野・玉川JV)の現場を見学した後、懇話会を開催し、参加した36人は、同じ業界で働く女性とさまざまな話題を共有して交流を深めた。

### 朝里トンネル 工法学ふ

けんせつ小町現場見学会  
日建連道支部

【小樽】日本建設業連合会北海道支部(平島信一支部長)は、17日、小樽市内の「北海道新幹線朝里トンネル他」(東急・宮坂・廣野・玉川JV)の現場を見学した後、懇話会を開催し、参加した36人は、同じ業界で働く女性とさまざまな話題を共有して交流を深めた。



北海道建設新聞 2019年7月19日

倶知安余市道などで現場見学会  
建設業への知見深めて  
札工高生保護者を対象に



【小樽発】北海道建設業協会が25日、余市町や小樽市で札工工業高校の保護者を対象とした現場見学会を開催した。保護者など学校関係者27人のほか、建設どさん娘の会から5人が参加し、高規格道知安余市道路の登川大橋など多岐、小樽開港女性技術者との意見交換会も行われ、保護者は熱心に関係者の話に耳を傾けた。

建設業の施工現場の見学を通じて、高校生の保護者に建設現場について広く理解してもらおうと企画している。建設どさん娘の会の会員も協力し、業界のイメージアップを図っている。

当日は、小樽開港の歴史

【小樽発】北海道建設業協会が25日、余市町や小樽市で札工工業高校の保護者を対象とした現場見学会を開催した。保護者など学校関係者27人のほか、建設どさん娘の会から5人が参加し、高規格道知安余市道路の登川大橋など多岐、小樽開港女性技術者との意見交換会も行われ、保護者は熱心に関係者の話に耳を傾けた。

建設業の施工現場の見学を通じて、高校生の保護者に建設現場について広く理解してもらおうと企画している。建設どさん娘の会の会員も協力し、業界のイメージアップを図っている。

当日は、小樽開港の歴史

北海道通信 2019年9月27日

札幌工業高校  
保護者  
現場見学会

【小樽発】北海道建設業協会は25日、札幌工業高校の保護者を対象とした建設現場見学会を開催した。保護者など学校関係者27人のほか、建設どさん娘の会から5人が参加し、高規格道知安余市道路の登川大橋など多岐、小樽開港女性技術者との意見交換会も行われ、保護者は熱心に関係者の話に耳を傾けた。

建設業の施工現場の見学を通じて、高校生の保護者に建設現場について広く理解してもらおうと企画している。建設どさん娘の会の会員も協力し、業界のイメージアップを図っている。

当日は、小樽開港の歴史

北海道建設新聞 2019年9月27日

土木技術者の職務紹介  
札幌工高生保護者向け 道建協が現場見学会



【小樽発】北海道建設業協会は25日、札幌工業高校の保護者を対象とした建設現場見学会を開催した。保護者など学校関係者27人のほか、建設どさん娘の会から5人が参加し、高規格道知安余市道路の登川大橋など多岐、小樽開港女性技術者との意見交換会も行われ、保護者は熱心に関係者の話に耳を傾けた。

建設業の施工現場の見学を通じて、高校生の保護者に建設現場について広く理解してもらおうと企画している。建設どさん娘の会の会員も協力し、業界のイメージアップを図っている。

当日は、小樽開港の歴史

明。保護者から勤務時間について質問があり、「働かずに待っているだけで、この現場は週休2日の制を採用している。残業も1-2時間の程度」と答えた。

その後、グラウンドパーク小樽で意見交換会を開催。建設どさん娘の会メンバーが中心となり、業界が取り組んでいる働き方改革への対応、防災準備、事故防止対策などを伝え、保護者の疑問や心配を払拭（ふっしょく）した。



発行：建設どさん娘の会  
編集：報告書作成チーム  
印刷：三浦印刷株式会社

建設業の重要性知って  
夏休み親子現場見学会を開催



【小樽発】札幌建青会（砂田英俊会長）は3日、鉄道建設・運輸施設整備支援機構が主催する「北海道新幹線開通トンネルほか」の現場で夏休み親子現場見学会を開催した。小学生やその保護者など約40人が参加、建設現場の見学や、親子で公共工事の大切さについて学んだ。

札幌建青会は、札幌建設業協会の会員を中心とした建設企業の青年社員で構成。毎年、夏休み中の小学生とその保護者を対象に現場見学会を行っており、これまで12回目を迎えた。

この日、札幌北法人会青年部会の助成で、建設どさん娘の会による講話を実施。続いて鉄道建設・運輸施設整備支援機構が主催する「北海道新幹線開通トンネルほか」の現場を訪れ、子どもたちはスケールの大きな建設機などを前に目を輝かせた。

子どもたちはトンネル内に移動し、トンネル工事の流れに関する説明を聞きながら、トンネルの中は暗く、作業は「トンネルの中は暗く、作業は「トンネルの中は暗く、作業は「トンネルの中は暗く、作業は」

【小樽発】札幌建青会（砂田英俊会長）は3日、鉄道建設・運輸施設整備支援機構が主催する「北海道新幹線開通トンネルほか」の現場で夏休み親子現場見学会を開催した。小学生やその保護者など約40人が参加、建設現場の見学や、親子で公共工事の大切さについて学んだ。

札幌建青会は、札幌建設業協会の会員を中心とした建設企業の青年社員で構成。毎年、夏休み中の小学生とその保護者を対象に現場見学会を行っており、これまで12回目を迎えた。

この日、札幌北法人会青年部会の助成で、建設どさん娘の会による講話を実施。続いて鉄道建設・運輸施設整備支援機構が主催する「北海道新幹線開通トンネルほか」の現場を訪れ、子どもたちはスケールの大きな建設機などを前に目を輝かせた。

子どもたちはトンネル内に移動し、トンネル工事の流れに関する説明を聞きながら、トンネルの中は暗く、作業は「トンネルの中は暗く、作業は「トンネルの中は暗く、作業は」

トンネル工事って、すごい！  
札幌建青会が夏休み親子現場見学会



【小樽発】札幌建青会（砂田英俊会長）は3日、小樽市内で開かれた「北海道新幹線開通トンネルほか」の現場で夏休み親子現場見学会を開催した。小学生やその保護者など約40人が参加、建設現場の見学や、親子で公共工事の大切さについて学んだ。

札幌建青会は、札幌建設業協会の会員を中心とした建設企業の青年社員で構成。毎年、夏休み中の小学生とその保護者を対象に現場見学会を行っており、これまで12回目を迎えた。

この日、札幌北法人会青年部会の助成で、建設どさん娘の会による講話を実施。続いて鉄道建設・運輸施設整備支援機構が主催する「北海道新幹線開通トンネルほか」の現場を訪れ、子どもたちはスケールの大きな建設機などを前に目を輝かせた。

子どもたちはトンネル内に移動し、トンネル工事の流れに関する説明を聞きながら、トンネルの中は暗く、作業は「トンネルの中は暗く、作業は「トンネルの中は暗く、作業は」

北海道通信 2019年8月6日

札幌建青会主催  
親子現場見学会

【小樽発】札幌建青会（砂田英俊会長）は3日、小樽市内で開かれた「北海道新幹線開通トンネルほか」の現場で夏休み親子現場見学会を開催した。小学生やその保護者など約40人が参加、建設現場の見学や、親子で公共工事の大切さについて学んだ。

札幌建青会は、札幌建設業協会の会員を中心とした建設企業の青年社員で構成。毎年、夏休み中の小学生とその保護者を対象に現場見学会を行っており、これまで12回目を迎えた。

この日、札幌北法人会青年部会の助成で、建設どさん娘の会による講話を実施。続いて鉄道建設・運輸施設整備支援機構が主催する「北海道新幹線開通トンネルほか」の現場を訪れ、子どもたちはスケールの大きな建設機などを前に目を輝かせた。

子どもたちはトンネル内に移動し、トンネル工事の流れに関する説明を聞きながら、トンネルの中は暗く、作業は「トンネルの中は暗く、作業は「トンネルの中は暗く、作業は」

北海道建設新聞 2019年8月6日

